

製品名: EpCAM (17E13) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe10507**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	35kDa

抗原情報

遺伝子名	EPCAM
別名	ESA; KSA; M4S1; MK1; DIAR5; EGP2; EGP40; KS1/4; MIC18; TROP1; TACSTD1; EPCAM;
遺伝子 ID	4072.0
SwissProt ID	P16422
免疫原	ヒト EpCAM の合成ペプチド

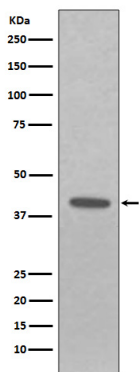
背景

粘膜感染に対する第一防御線として免疫バリアを提供するために、粘膜上皮における腸上皮細胞 (IEC) と上皮内リンパ球 (IEL) 間の物理的な同種親和性相互作用分子として作用する可能性があります。胚性幹細胞の増殖と分化において役割を果たします。FABP5、MYC、サイクリン A、サイクリン E の発現をアップレギュレーションします。粘膜感染に対する第一防御線として免疫バリアを提供するために、粘膜上皮における腸上皮細胞 (IEC) と上皮内リンパ球 (IEL) 間の物理的な同種親和性相互作用分子として作用する可能性があります。胚性幹細胞の増殖と分化において役割を果たします。FABP5、MYC、サイクリン A、サイクリン E の発現をアップレギュレーションします。

研究分野

タグとセルマーカー

画像データ



A431 細胞溶解物における EpCAM 発現のウエスタン ブロット分析。